

## 教育訓練プログラム仕様

【スケジュール表】

形式	時間数計	科目名	時間数	内 容
通学	117	オリエンテーション	3	講座概要・留意事項説明
		社会人基礎力、コミュニケーション	3	社会人基礎力養成、コミュニケーション
		就職支援・ジョブカード	12	自己理解・強み発見・ジョブカード作成
		介護基礎知識	3	声かけ、ボディメカニクス
		介護技術	12	ベッドメイク、移乗・移動、着脱、食事、排泄
		認知症ケア法	9	認知症現況・症状・接し方等
		介護ロボット、ICTにふれる	6	ICT導入業務効率化の重要性理解 介護現場見学・先輩介護士から話を聞く
		介護福祉士国家試験対策講座	12	今年度試験の傾向と解き方テクニック
		実務者スクーリング【介護過程Ⅲ】	45	介護過程の実践的展開・介護技術
		実務者スクーリング【医療的ケア演習】	12	喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生法
通信	405	人間の尊厳と自立	5	介護の基本的理念の理解
		社会の理解Ⅰ	5	介護保険制度の理解
		介護の基本Ⅰ	10	介護福祉士と介護の考え方
		生活支援技術Ⅰ	20	自立に向けた介護の方法
		発達と老化の理解Ⅰ	10	老化に伴うところとからだの変化
		認知症の理解Ⅰ	10	認知症の基礎理解
		社会の理解Ⅱ	30	社会のしくみ理解
		介護の基本Ⅱ	20	介護福祉士による介護実践
		コミュニケーション技術	20	コミュニケーション・相談援助技術
		発達と老化の理解Ⅱ	20	老年期の発達・成熟と健康
		ところとからだのしくみⅠ	20	介護に関連するからだのしくみ
		生活支援技術Ⅱ	30	利用者の心身の状況に応じた介護
		介護過程Ⅰ	20	介護過程の基礎理解
		介護過程Ⅱ	25	介護過程の展開の実際
		障害の理解Ⅰ	10	生涯の基礎理解
		ところとからだのしくみⅡ	60	人体の構造と機能・介護の観察ポイント
		認知症の理解Ⅱ	20	認知症の医学的理解と支援の実際
		医療的ケア	50	医療的ケア基礎理解
		障害の理解Ⅱ	20	障害の医学的理解と支援の実際
実習	※	職場実習	※	県内介護事業所にて

※職場実習は希望者のみ。時間数は受講者と施設の要望に合わせて設定

【科目別内容】

科目名	社会人基礎力、コミュニケーション
形式	通学
時間数	3時間
<p>【社会人基礎力】</p> <p>■目的・ねらい            正規雇用となって意欲的に業務に携わり、将来的には介護の中核的人材となるために、自らが考え、習得するための行動と、チームで仕事をするうえでのコミュニケーションの必要性について学ぶ。</p> <p>■到達目標            自分の役割を理解しようと努めながら、積極的にコミュニケーションがとれるようになること。</p> <p>■内容            グループ実践の中で、主体性、課題発見力、発信力、ストレスコントロールなどを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会経済の動向並びにキャリア形成支援の必要性の理解・</li> <li>・社会経済の動向（労働環境の変化）・・・産業構造と就業構造の変遷</li> <li>・職業別就業者数（年平均的結果－全国）・・・総務省統計局</li> <li>・正社員と非正社員に求めるものの違い・・・労働政策研究・研修機構</li> <li>・働くことの目的（グループ討議）</li> </ul>	

科目名	介護基礎知識
形式	通学
時間数	3時間
<p>【介護基礎知識】</p> <p>■目的・ねらい            基礎知識として「声かけについて」「ボディメカニクス」を理解する。引き続き実施する介護技術の基礎知識とする。</p> <p>■到達目標            声かけの基本を理解し、実際に受講生同士で体験し、声かけスキルをあげていく。ボディメカニクスを理解し、引き続き実施する介護技術でボディメカニクスを理解した上で介護技術できるようにする。</p> <p>■内容            声かけについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方への声かけ</li> <li>・視覚障害者への声かけ</li> <li>・抑揚に注意する</li> <li>・体を触る際には必ず声をかけする</li> <li>・声かけには聴く姿勢も重要</li> </ul>	

- ・利用者との信頼関係が声かけしやすい雰囲気を作る
- ・具体的な声かけをやってみよう

#### ボディメカニクス

- ・介助者の支持基底面を広くする
- ・介助者の重心を低くする
- ・介助者と高齢者の身体をできるかぎり近づける
- ・てこの原理を活用する
- ・大きな筋群を使う
- ・介助者は身体をねじらない
- ・水平に移動する
- ・高齢者の身体をコンパクトにまとめる
- ・ベクトルの法則を用いる

科目名	介護技術
形式	通学
時間数	12 時間
場所	介護実習室

#### 【介護基礎知識】

##### ■目的・ねらい

介護技術（基本）の習得、ボディメカニクスを利用した介護技術の習得

##### ■到達目標

座学で理解した介護基礎知識を使い、実際に体を動かし、現場での介護技術に自信をつける。

##### ■内容

#### ベッドメイキング

- ・ベッドメイキングのポイント
- ・ベッドメイキングの方法

#### 移乗・移動

- ・移動介護の基本的理解
- ・ベッド上での移動
- ・仰臥位から側臥位
- ・側臥位から側臥位から座位・端座位
- ・正しい座位
- ・車いすでの移動について
- ・ベッドから車いすへの移動（左片麻痺の場合）
- ・車いすからベッドへの移動
- ・車いすでの移動介助
- ・歩行介助

#### 衣類の着脱介助

- ・座った状態での更衣介助「前開きタイプの場合」
- ・座った状態での更衣介助「被るタイプの場合」
- ・座った状態での更衣介助「ズボンの着脱」

#### 食事介助

- ・高齢者の食事の特徴

#### 排泄の介助

- ・排泄介助のポイント
- ・利用者にあった排泄方法の選び方

科目名	認知症ケア法
形式	通学
時間数	9時間
<p><b>【認知症ケア法①】</b></p> <p>■目的・ねらい 認知症をとりまく現況や症状等を正しく理解し、認知症患者に対する正しいケア法を学ぶ。</p> <p>■到達目標 認知症に対して正しい理解をし、認知症の人に対する適切なケア法とはどのようなものかが分かるようになること。</p> <p>■内容 認知症を、定義、予防、症状、治療法といった観点から考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の定義</li> <li>・認知症の予防：危険因子、緩和因子</li> <li>・認知症の症状：中核症状、周辺症状</li> <li>・認知症の治療：適切なケア、薬物療法、非薬物療法</li> <li>・認知症ケアの理念、認知症の人のケアの基本原則</li> </ul> <p><b>【認知症ケア法②】</b></p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人のケアの基本原則</li> <li>・認知症の人との接し方</li> <li>・認知症の判断基準</li> <li>・毎日の暮らしにおけるケア</li> </ul>	

科目名	介護ロボット、ICT にふれる
形式	通学
時間数	6 時間
<p><b>【介護ロボットにふれる】</b></p> <p>■目的・ねらい 介護業界における介護ロボット活用の意義を学び、今後の現場において前向きに活用を検討する。</p> <p>■到達目標 介護ロボットが、なぜ必要かを他の人に説明することができる。今後の現場でもっと使ってみようと思っていただく。</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ロボットがなぜ必要か？</li> <li>・介護ロボットとは何か？</li> <li>・具体的な事例をご紹介します</li> </ul> <p><b>【ICT にふれる】</b></p> <p>■目的・ねらい ICT を導入するなど業務効率化の重要性についての理解</p> <p>■到達目標 対策について、明日からチャレンジしてみる</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護業界の外部環境を考える（制度改正などの流れ）</li> <li>・内部環境を考えるにあたってのご説明（人材について）</li> <li>・内部環境を振り返り、ICT 導入のイメージを持つ（ワークを実施）</li> <li>・実際に ICT を導入している事業所の様子は？事例のご紹介</li> </ul>	

科目名	介護福祉士国家試験対策講座
形式	通学
時間数	12 時間
<p>■目的・ねらい 介護福祉士国家試験の概要を理解し、資格取得への意欲を醸成する。 受験者は過去問から今年度試験の傾向、解き方を理解する。</p> <p>■到達目標 合格のための勉強法を学び、今年度試験の傾向を理解する。過去問にチャレンジし、国家試験概要を理解する。</p> <p>■内容</p>	

- ・合格のための勉強法
- ・今年度試験の傾向と解き方テクニック
- ・過去問にチャレンジしてみよう！

■使用テキスト

図解でスッキリ!介護福祉士テキスト 2020年版(ナツメ社)

科目名	実務者研修スクーリング【介護過程Ⅲ】
形式	通学
時間数	45時間
<p>【介護過程Ⅲ】介護過程の展開の実際 ～利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開～ 学習のねらい</p> <p>①実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ②知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護(アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等)を提供できる。 ③介護計画を踏まえ、安全確保・自己防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ④知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況に応じた介護を行うことができる。</p> <p>授業の概要</p> <p>(1) 片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援 (2) 在宅で終末期を迎える高齢者と家族の生活支援 (3) 都会に住む一人暮らしの高齢者の生活支援 (4) 介護老人保健施設で生活する利用者への支援</p> <p>使用テキスト 介護福祉士実務者研修テキスト 第3巻「介護Ⅱ」 中央法規出版</p>	

科目名	実務者研修スクーリング【医療的ケア演習】
形式	通学
時間数	12時間
<p>【医療的ケア実施の基礎】 学習のねらい</p> <p>①医療的ケアを安全に実施するための基礎的知識について理解している。 ②医療的ケアに関連する法制度や倫理等を理解している。 ③感染予防、安全管理体制等についての基礎的知識について理解している。</p> <p>授業の概要</p> <p>(1) 医療的ケア (2) 安全な療養生活</p>	

(3) 生活保持と感染予防

(4) 健康状態の把握

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第5巻「医療的ケア」 中央法規出版

#### 【喀痰吸引】

学習のねらい

- ①呼吸のしくみとはたらき、吸引を受ける人の気持ちの理解など、喀痰吸引の基本的知識を理解している。
- ②喀痰吸引における急変、事故発生時の対応などについて理解している。
- ③喀痰吸引の実施手順（口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部）を理解している。

授業の概要

- (1) 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論
- (2) 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第5巻「医療的ケア」 中央法規出版

#### 【経管栄養】

学習のねらい

- ①消化器系のしくみとはたらき、経管栄養を受ける人の気持ちの理解など、経管栄養の基本的知識を理解している。
- ②経管栄養における急変、事故発生時の対応などについて理解している。
- ③経管栄養の実施手順（胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養・経鼻経管栄養）を理解している。

授業の概要

- (1) 高齢者および障害児・者の経管栄養概論
- (2) 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第5巻「医療的ケア」 中央法規出版

#### 【演習】

学習のねらい

- ①喀痰吸引のケア実施の流れ（準備から実施、報告・記録まで）について、評価票に基づき、口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部をそれぞれ5回以上行い、評価を得る。
- ②経管栄養のケア実施の流れ（準備から実施、報告・記録まで）について、評価票に基づき、胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養、経鼻経管栄養をそれぞれ5回以上行い、評価を得る。
- ③救急蘇生法について、心肺蘇生の流れを、1回以上行う。

授業の概要

- (1) 喀痰吸引のケアの実施の手引

(2) 経管栄養のケアの実施の手引

(3) 救急蘇生法の手引

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第5巻「医療的ケア」 中央法規出版

科目名	実務者研修
形式	通信
時間数	405 時間

#### 【人間の尊厳と自立】

学習のねらい

尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護、介護の基本的な理念を理解している。

授業の概要

(1) 人間の多面的な理解と尊厳

(2) 自立・自律の支援

(3) 人権と尊厳

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第1巻「人間と社会」 中央法規出版

#### 【社会の理解Ⅰ】介護保険制度の理解

学習のねらい

介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。

授業の概要

(1) 介護保険制度創設の背景と目的

(2) 介護保険制度の基礎的理解

(3) 介護保険制度における専門職の役割

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第1巻「人間と社会」 中央法規出版

#### 【社会の理解Ⅱ】社会のしくみの理解

学習のねらい

①家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。

②社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を修得している。

③障害者自立支援制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。

④成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解



している。

授業の概要

- (1) 生活と福祉
- (2) 社会保障制度
- (3) 障害者自立支援制度
- (4) 介護実践にかかわる諸制度

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第1巻「人間と社会」 中央法規出版

### 【介護の基本Ⅰ】介護福祉士と介護の考え方

学習のねらい

- ①介護福祉士制度の沿革、法的な定義、業務範囲、義務等を理解している。
- ②個別ケア、ICF（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。
- ③介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止、虐待防止に関する法制度を理解し、倫理を遵守している。

授業の概要

- (1) 介護福祉士の制度
- (2) 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開
- (3) 介護福祉士の倫理

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第2巻「介護Ⅰ」 中央法規出版

### 【介護の基本Ⅱ】介護福祉士による介護実践

学習のねらい

- ①介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援課題を把握することができる。
- ②チームアプローチにかかわる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。
- ③リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。
- ④介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。

授業の概要

- (1) 介護を必要とする人の生活の理解と支援
- (2) 介護実践における連携
- (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント
- (4) 介護福祉士の安全

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第2巻「介護Ⅰ」 中央法規出版

## 【コミュニケーション技術】

学習のねらい

- ①利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。
- ②援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。
- ③利用者の感覚・運動・認知等の技能に応じたコミュニケーションの技法を選択し活用できる。
- ④状況や目的に応じた記録、報告、会議での情報の共有化ができる。

授業の概要

- (1) 介護におけるコミュニケーション
- (2) 介護におけるコミュニケーション技術
- (3) 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション
- (4) 介護におけるチームのコミュニケーション

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第2巻「介護Ⅰ」 中央法規出版

## 【生活支援技術Ⅰ】 自立に向けた介護の方法

学習のねらい

- ①生活支援における ICF の意義と枠組みを理解している。
- ②ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実践できる。
- ③介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を修得している。
- ④居住環境の整備、福祉用具の活用等により、環境整備に関する視点、留意点を理解している。

授業の概要

- (1) 生活支援と ICF
- (2) 居住環境の整備と福祉用具の活用
- (3) 移動・移乗の介護技術の基本
- (4) 食事の介護技術の基本
- (5) 入浴・清潔保持の介護技術の基本
- (6) 排泄の介護技術の基本
- (7) 着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本
- (8) 家事援助の基本

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第2巻「介護Ⅰ」 中央法規出版

## 【生活支援技術Ⅱ】 利用者の心身の状況に応じた介護

学習のねらい

「移動・移乗」「食事」「入浴・清潔保持」「排泄」「着脱、整容、口腔清潔」「睡眠」「終末期の介護」のそれぞれについて、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができる。

授業の概要

- (1) 移乗、移動の介護
- (2) 食事の介護
- (3) 入浴、清潔保持の介護
- (4) 排泄の介護
- (5) 着脱、整容、口腔清潔の介護
- (6) 睡眠の介護
- (7) 終末期の介護

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第2巻「介護Ⅰ」 中央法規出版

#### 【介護過程Ⅰ】介護過程の基礎的理解

学習のねらい

- ①介護過程の目的、意義、展開等を理解している。
- ②介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う
- ③チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種役割を理解している。

授業の概要

- (1) 介護過程の意義と目的
- (2) 介護過程の展開
- (3) 介護過程とチームアプローチ

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第3巻「介護Ⅱ」 中央法規出版

#### 【介護過程Ⅱ】介護過程の展開の実際

学習のねらい

情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。

授業の概要

- (1) 介護職による介護過程の進め方
- (2) 介護過程の実践的展開
- (3) 施設で暮らす高齢者の介護過程
- (4) 在宅で暮らす高齢者の介護過程

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第3巻「介護Ⅱ」 中央法規出版

#### 【発達と老化の理解Ⅰ】老化に伴うこころとからだの変化

学習のねらい

- ①老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。
- ②老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。

#### 授業の概要

- (1) こころの変化と日常生活への影響
- (2) からだの変化と日常生活への影響

#### 使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」  
中央法規出版

#### 【発達と老化の理解Ⅱ】 老年期の発達、成熟と健康

##### 学習のねらい

- ①発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。
- ②老年期の発達課題、心理的な問題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解している。
- ③高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。

#### 授業の概要

- (1) 人間の成長・発達
- (2) 老年期の発達・成熟と心理
- (3) 高齢者に多くみられる症状・疾病等

#### 使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」  
中央法規出版

#### 【認知症の理解Ⅰ】 認知症の基礎的理解

##### 学習のねらい

- ①認知症ケアの取組みの経過を踏まえ、今日的な認知症のケアの理念を理解している。
- ②認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。
- ③認知症の人やその家族に対するかかわり方の基本を理解している。

#### 授業の概要

- (1) 認知症ケアの理念と視点
- (2) 認知症による生活障害、心理・行動の特徴
- (3) 認知症の人とのかかわり・支援の基本

#### 使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」  
中央法規出版

#### 【認知症の理解Ⅱ】 認知症の医学的理解と支援の実際

##### 学習のねらい

- ①代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。

②認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。

③地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。

授業の概要

(1) 医学的側面からみた認知症の理解

(2) 認知症の人や家族への支援の実際

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」

中央法規出版

#### 【障害の理解Ⅰ】障害の基礎的理解

学習のねらい

①障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。

②障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。

③障害児・者やその家族に対するかかわり・支援の基本を理解している。

授業の概要

(1) 障害者福祉の理念

(2) 障害による生活障害、心理・行動の特徴

(3) 障害児・者や家族へのかかわり・支援の基本

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」

中央法規出版

#### 【障害の理解Ⅱ】障害の医学的理解と支援の実際

学習のねらい

①さまざまな障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を修得している。

②障害児・者の障害、家族・社会関係、居住環境についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。

③地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。

授業の概要

(1) 医学的側面からみた障害の理解

(2) 障害児・者への支援の実際

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」

中央法規出版

**【こころとからだのしくみⅠ】介護に関連するからだのしくみ**

学習のねらい

介護に関係したからだの構造や機能に関する基本的な知識を修得している。

授業の概要

- (1) 移動・移乗に関連するからだのしくみ
- (2) 食事に関連するからだのしくみ
- (3) 入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ
- (4) 排泄に関連するからだのしくみ
- (5) 着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」 中央法規出版

**【こころとからだのしくみⅡ】心身の構造・機能と介護における観察のポイント**

学習のねらい

- ①人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得している。
- ②生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。
- ③からだのしくみ、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。

授業の概要

- (1) 人間の心理
- (2) 人体の構造と機能
- (3) 移動・移乗における観察のポイント
- (4) 食事における観察のポイント
- (5) 入浴・清潔保持における観察のポイント
- (6) 排泄における観察のポイント
- (7) 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント
- (8) 睡眠における観察のポイント
- (9) 終末期における観察のポイント

使用テキスト

介護福祉士実務者研修テキスト 第4巻「こころとからだのしくみ」

中央法規出版